

神戸市在宅重度障害児者医療福祉コーディネーター事業 第8回在宅セミナー(保護者向け)報告

テーマ 重症心身障害者のがんをどうする～発見と精査と治療～

プログラム (総合司会進行 久井)

- ①講義「重症心身障害者のがんをどうする」講師：八木麻理子 にこにこハウス医療福祉センター医師
- ②質疑応答

対象者 重症心身障害児者の保護者 27名

開催日時 2019年3月6日(水) 10:30～12:00 (10:00～受付)

開催場所 にこにこハウス医療福祉センター3号館 1階多目的室

研修概要

本セミナーは、重症児者の保護者に向けた第5回目のセミナーである。研修のメインテーマは、『重症心身障害者のがんをどうする～発見と精査と治療～』であり、プログラム①では、八木医師より、がんの成り立ちや胃・腸・子宮・乳がんといった一般的ながんについて、検査や治療の具体的な方法を分かりやすく伝えていただきました。また、検査や治療の選択を行う必要性和代弁者として利用者の利益を考えた選択をすることの難しさ苦悩についても触れられており、少し心が重くなる内容ではありましたが、確実に利用者の生活を考える上では必要な課題であることも分かりました。プログラム②では、保護者の方から活発な意見や感想が述べられ、利用者の皆さまの一人ひとりに必要な手立てや手助けを保護者と施設側とで共に考え続けることの重要性を認識したセミナーでした。



や

受講者からの評価 (アンケート結果抜粋)

回答者 26名



セミナーのプログラム①講義については、とても参考になった16名、参考になった9名、無回答1名であった。プログラム②質疑応答については、とても参考になった18名、参考になった7名、無回答1名であった。「このセミナーに来ることで、日常の介護を振り返る機会になる。」「生の情報交換ができる。」「気軽に話せた。」などの意見があった。来年度以降このようなセミナーを開催について、ぜひ参加したい20名、テーマによっては参加したい6名とセミナー開催を望まれ、希望するテーマについては、

当事者の健康に関すること、精神面の支え方、今回のセミナーから波及した緩和ケアや看取り、がんの早期発見について等、具体的なテーマが出された。

今後の課題

アンケートの結果からも本セミナーの研修内容は、保護者の方にとって施設の取り組みや今から今後を見据えた知識提供につながり有効であったと考える。また開始時刻、講義内容も受講者ニーズを満たしていると考えている。今回、質疑応答の時間を多く取ったことで、保護者の方の質問や思いを発信する機会となり、参加した方にとっても他の保護者の方の意見があり、効果的であったと考える。今後も交流会と講義と質疑応答といったテーマによって、展開方法も検討し、より多くの方の参加と満足度に貢献できるように企画運営していく。